

から最近の子どもには我慢する力がなくなってきたのではないかと感じますね。ひとつは生活が豊かになり物があふれていることが原因かもしれません。

教育長 学力向上についてですが、以前は学力を知識や技能を中心に測っていましたが、現在は、それらに加えて、学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力等を活用して問題解決する資質や能力等を含めたものを『確かな学力』としています。本町においても、全ての学校で学力向上を図るための取り組みとして、新しい学力に対応した評価問題づくりなどが始まっています。結果としてこのような取り組みが国際社会の中で通用する人材につながるのではないかと考えます。

町長 それから、これは子どもだけの問題ではありませんが、私は一番大切なのは体力と気力だと思えますね。気力は根性と言ってもいいかもしれませんが。最後まであきらめずにやり遂げる体力・気力が一番大切だと思っています。

教育長 体力を支えるといった意味では食育もありますね。地産地消につながる取り組みで、何より生活の基礎となるものです。

行政として取り組むこと

町長 行政で何もかもやることはできません。家庭や地域と役割分担をしながら様々なことに取り組んでいかなければならないと思います。

す。特に経験・知識が豊富な高齢者と一緒に何かを学ぶような仕掛けはやっていかなければならないと考えています。

教育長 現在、教育委員会では「つなぎ遊びの学校」という事業に取り組んでいます。そのような取り組みの中で智慧(生活力)をつけていくと欲しいと思います。

学校再編問題について

町長 まず、学校再編については、子どもの教育向上の観点から考えることが一番重要だと思いますが、その上で施設管理の面から発言しますと、赤崎小は「存知のおり海の上に建設されています。塩害で腐食しやすいため耐震強度等からも危険校舎に近づきつつありますので、まずは安全面を確保しなければならぬ」という問題があります。平国小は校舎の危険度からは比較的緊急性は低いかと思えます。また、本町においては校舎間の距離も他町と比べると短いため、もし再編になった場合も不便をおかけすることは少ないのではないかと考えています。

教育長 教育委員会としては、学校の適正規模や施設等の条件整備など子どもが生きていく力をよくするために最適な学習環境づくりをいかに進めるかといった視点が最も重要であると考えています。今後も保護者をはじめ地域の方々のご理解を得ながら学校再編を進めていく

必要があると考えています。

町長 本当にこの問題は大人の理屈だけで進めてはいけないと思います。子どものためになるのか、それに尽きますね。

津奈木つ子に期待すること

町長 積極的な考えや行動が出来る子ども、そして正直で誠実な子どもになって欲しい。そして我慢ができる子ども、情豊かな子どもであって欲しいと思います。

それから何と言ってもやさしさです。やさしさとは勇気につながる大切なものだと思います。

教育長 私も同じですが、付け加えるとすると、やはり津奈木に生まれたことを誇りに思う子どもに、大好きだと言える子どもになって欲しいと思います。

町長 教育はやはり内容ですよね。どんないい校舎を作るよりもこれを実現するためにどのような教育をしていくかが一番大切だと思っています。

全町民が学びあえる環境づくり
町長 人は生まれてから生涯を通じて学習するものです。そのような学習機会を作っていくのも大切な仕事だと思います。

教育長 生涯学習講座に参加される方を見ると、自分で学ぼうとする意欲が強くそれを生きが

いとされています。まずはそのような取り組みを今後も続けていく必要がありますね。それから生涯学習は大人だけの問題ではなく生まれたときからすでに始まっています。子育ての中にも教育がありますし、そのようなあらゆる求めにこたえていく必要があります。具体的には先ほど述べたような子どもと大人と一緒に学ぶ機会づくりを進めたいですね。童謡など日本のこの歌を一緒に歌ったりするのはいいと思います。

町長 確かに「ふるさと」や「赤とんぼ」なんかは泣けてきますよね。それはいいと思います。それから町民のみなさんにお願したいのは、子どもと一緒に勉強して欲しいということ。子どもから教わることも多いと思いますので、一緒に学ぶ姿勢を持つて欲しいと思います。

教育長 それは教師にも言えると思います。本当に必要なのは、みんなと一緒に学ぶという姿勢なのかもしれません。

文化的な取り組みについて
教育長 特に問題に思っているのが読書ばなれの問題です。読書は想像力を育むにはとても効果的な学習です。また、この問題は文章力の低下にもつながることですので危機感をもって取り組みたいです。

町長 町でも図書館の機能拡充については検討を進めています。すぐには無理かもしれませんが、子供たちの学習の場としての改修等は将来的に必要になってくると考えています。

教育長 それから町には文化財もありますし、美術館などの文化施設もあります。文化的な取り組みを学校教育の中に取り入れることも必要になってくるかと思っています。教育委員会としても子どもたちの作品を展示する場所を「まちかどギャラリー」として、町内に設置したいと思っています。

町長 子どもの頃から感性を磨くことは非常に重要なことです。学校教育の中で美術館をもっと活用して欲しいですね。

「最後に」

町長 教育とはまさに未来への投資です。道路整備などと違い即効性はない。しかし誰もが重要性を認識しているように未来を支えるのは教育であり人材です。本当に大変ですが、今後もソフト面を中心に頑張っていかなければならないと思います。

教育長 教育委員会としてもこれまで述べたような課題を解決するため、それにふさわしい教育環境づくりに積極的に取り組んでいきたいと思っています。